

平成 2 6 年度

事業計画書

公益財団法人京都府公園公社

目 次

事業運営方針	1
1. 公益目的事業の推進	1
2. 施設の有効活用	1
3. 公園管理の充実	1
4. 環境活動の推進	2
5. 経営基盤の強化	2
事業内容	3
新規事業への取組	3
1. 公益目的事業	4 ~ 10
(1) スポーツ振興事業	4 ~ 7
1) スクール事業	4 ~ 6
2) 障がい者支援事業	4
3) 自主活動支援事業	6
4) イベント事業	6 ~ 7
競技力向上における普及・啓発を目的とした事業	6
スポーツの普及・振興を目的とした事業	7
福島県との交流を目的とした事業	7
(2) 地域振興事業	7 ~ 8
1) 公園の賑わいの創出を目的に地域と連携した事業	7 ~ 8
2) 近隣の学校や地域、大学と連携した事業	8
(3) 緑化推進事業	9
(4) 施設貸与事業	10
(5) 施設運営事業	10
(6) 広報活動	10
(7) モニタリング	10
2. 収益事業	11 ~ 13
(1) 収1事業	11 ~ 12
1) 収益施設貸与	11
2) ファミリープールの管理運営	11
3) 駐車場の管理運営	12
4) ロッカーの管理運営	12
5) 収益を目的としたスクール、イベント	12 ~ 13
(2) 収2事業	13
会社の組織	14

事業運営方針

京都府公園公社は、京都府民の公益の増進という社会的役割を担うため、京都府における都市公園等の効率的な管理運営及び公園緑地、スポーツ・レクリエーション等に関する事業を通して、府民の健康で心豊かな生活の向上並びに地域振興に寄与し、府民の財産である公園の価値を地域とともに高め、その存在意義と機能を最大限に発揮させるため、「スポーツ振興事業」「地域振興事業」「緑化推進事業」を事業活動の柱として、下記の方針に基づき積極的に事業の展開を図っていく。

また、公益法人移行に伴い、より透明性や効率性の高い業務執行が求められることから執行体制の強化と事務の効率化、地域連携イベントの拡充などをさらに推進して指定管理第3期の中間年となる本年度は、次期指定管理へ向けての軌道調整を図る年度とする。

1. 公益目的事業の推進

公益法人である当公社の中核となる事業であり、「スポーツ振興事業」「地域振興事業」「緑化事業」「施設貸与事業」によるスポーツ・レクリエーションの普及振興や地域活性化及び緑化活動や啓発事業を積極的に推進する。

2. 施設の有効活用

施設の効率的・効果的かつ円滑な運営を図るため、施設利用調整基準を定め公平性・公共性・透明性を確保しているが、本年度から山城（広場）と伏見の利用調整を一元的に実施する予定としている。

また、山城総合運動公園では単に施設貸出にとどまらず、緑のウォークラリー、宇治太陽が丘スイートリレーマラソン、松竹芸能 presents 爆笑ランニング 2014 森脇健児リレーマラソン in 京都、おうじちゃまつりへの参画など地域振興事業に取り組み、従来の参加型から見るスポーツやジュニア育成事業、シニアスポーツの拡充に取り組んでいく。

なお、地域との協働・連携事業では隣接する宇治市植物公園との遠足プラン（5件、遠足13%増）や地元観光協会との宿泊プラン（H.25 5件 240名）、観光プラン（2件）の拡充を図るとともに行政や警察署・消防署・鉄道関連会社とのイベント連携を進める。

伏見港公園においては、地域の観光資源等を有効に活用し地域との協働事業として、伏見シティサイクリングや伏見港まつりを開催するとともに伏見港桜まつりの開催についても検討を進める。

3. 公園管理の充実

京都府から指定管理者として指定を受けた施設の適切な管理運営を行い、利用者に安心・安全で快適な空間と質の高いサービスを提供する。

大規模災害時の物資集積場所や被災時の避難収容場所に指定され、災害時における行政との連携を強化する。

伏見港公園のプール施設復旧に向けて、利用者ニーズをくみ上げ京都府に提案するとともに協議を進める。

また、「緑の活動」として、京都S K Yセンター、フォレスターうじ、公園ボランティア、京都野鳥の会などとの協働によるパークマネジメントを推進する。

なお、京都府をはじめ、地元関係団体との連携を進め観光事業者等連絡会議や各種イベントへ積極的に参画するとともに「公園づくり懇談会」の枠組みづくりを進める。

4. 環境活動の推進

節電や剪定材のリサイクル化の取組による環境負荷の低減を目指した環境活動に取り組む。東日本大震災による原発事故後、自然素材に触れる機会が減った子どもたちへ剪定材等を届ける取組を福島県の要望に合わせて引き続き実施する。

また、エコキャップ活動(H.25年9月から16,770個 19.5人分のワクチン)への参加などによるゴミのリサイクル化と社会貢献事業を推進する。

5. 経営基盤の強化

充実した公益目的事業を行う財源を確保するため、公益目的事業とのバランスに配慮しつつ、イベント誘致や飲食物販におけるメニューの多様化、事務の簡素化、経費削減やコスト意識の徹底など組織・事務の再編・改善と収益事業の拡大に努め、将来にわたる安定的な経営(財政)基盤を確立する。

また、コンプライアンスの徹底や公園管理における知識や技能の向上に努めるとともに、運営ノウハウの継承と錬磨に努め、安定的に継続可能な組織づくりと人材育成に積極的に取り組む。

上記事業を着実に遂行し、府民からより一層信頼を得るよう公益法人としてふさわしい透明性の高い組織運営に努める。

事業内容

新規事業への取組

スポーツ参加の底辺の拡大と参加機会の平等・拡大を図ることを目的に新規事業への取り組みを進めます。

山城総合運動公園

項目	内容
ジュニアの育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアテニススクールをステップアップスクールとして系統的な指導を行う。 ジュニア A・B・C 各 40 回 延べ 1,200 人を予定 ・ジュニアサッカースキルアップクラスの増設を検討 25 回 延べ 500 名程度で検討
保育ルームの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・週 2 日（5 コース）から週 3 日（6 コース）へ拡充 25 年度実数 64 回 延べ 170 人 26 年度予定 95 回 延べ 570 人 ・年 4 回の広報（新聞折込み）等による周知拡大 ・保育園、幼稚園など若い子育て世代への案内
ビジター制度の見直し	新規参加者の獲得と底辺の拡大に向けて、 各スクール、各コース それぞれ 1 回ずつ無料体験を実施
生涯スポーツの推進・拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・ワールドカップサッカー、東京オリンピックの感動から 2021 ワールドマスターズゲームに向けてサッカーを楽しむため大人のサッカースクールを検討 ・新設の弓道場を活用し弓道の普及啓発（京都府弓道連盟と連携事業を計画） ・ニュースポーツの普及、拡充 京都府レクリエーション協会との連携による定期的なイベントの開催
イベント事業、競技会との関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・トライアスロンスクール アクアスロン大会、講習会との関連事業として開設を検討（京都府トライアスロン協会と調整中） ・ハンナリーズバスケットボールスクール交流大会（200 名を予定） ・バスケットボールクリニック b j リーグ開催に伴う関連事業として実施予定（H.25 130 名 H.26 は 200 名を予定）
地域との連携事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・「太陽が丘カルチャーカフェ」の開設準備 ・公園の多機能化への取組 ・地元産品や物産品の P R と地域コミュニティの場の提供

伏見港公園

項目	内容
体操教室の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズ層の拡充により年代別スクールの開催 京都体操協会との連携を推進
楽しむスポーツの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツを楽しむ日」「シニアスポーツデー」にニュースポーツの導入 京都府レクリエーション協会との連携により楽しめる種目の導入
朝市の充実・拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・「伏見港まつり」として春・秋に開催予定 地元連携団体との連携により公園の賑わいの創出と地域力向上を図る。
魅力ある公園づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「伏見港まつり」「伏見港桜まつり」開催に向けての準備
地域との連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「伏見シティサイクリング」の定期的な開催 伏見警察署、伏見区役所、観光協会、伏見商店街組合等との連携を推進
中高年の健康増進	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり教室の新設 心身のトータルバランスを整える脳活用法の実践

1. 公益目的事業

(1) スポーツ振興事業

京都府公園公社スポーツ振興計画により、スポーツ環境の整備を通して、明るく活力に満ちた府民生活の実現、府民の健康づくりや豊かなスポーツライフの実現を目指す。

スポーツ振興事業のメニュー・プログラムは、競技団体等と協議して幅広い方々が参加できるよう施設の特徴を活かした多種多様なプログラムを設定し、次のステップに移行するまでのきっかけづくりを目的として実施する。

1) スクール事業

だれもが、健康で明るく活力に満ちた生活を送ることができるよう、個々の目的に応じて日常的にスポーツに親しむことができる環境づくりを行い、スポーツの日常化に向けて取り組む。

また、保育ルームの設置プログラムを今後さらに充実し、女性が参加しやすい環境づくり支援と参加ニーズの掘り起こしに力を注ぐ。

幼児期から少年期（4歳～12歳まで）に運動能力や体力の向上を図るとともにスポーツの楽しさを体験できるように「きっかけ」の場を充実させる。

中・高年のスポーツ活動では、健康の維持・増進とともに体調管理能力を養い健康長寿社会の実現に向けて環境の整備とプログラムの提供を行う。

2) 障がい者支援事業（京都府受託事業：伏見港公園）

誰もが利用できる施設として障がい者も安心して活動できる事業を検討する。

3) 自主活動支援事業

公園を拠点に自主的に活動しているグループに対して、活動の場や情報の提供、相談など側面的な支援を行う。

幅広い年齢層の方々の健康の増進を目的とした事業

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	テニス月曜日	春・秋・冬	27
	テニス水曜日（保育ルーム設置）	春・秋・冬	27
	テニス金曜日（保育ルーム設置）	春・秋・冬	27
	テニス月曜日（夜間）	春・秋・冬	28
	テニス水曜日（夜間）	春・秋・冬	28
	成人水泳 火曜（保育ルーム設置）	春・秋	13
	成人水泳 金曜（保育ルーム設置）	春・秋	13

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	ヨガ	春・秋・冬	34
	バドミントン（保育ルーム設置）	春・秋・冬	30
	バレーボール（保育ルーム設置）	春・秋・冬	36
	エアロビクス（保育ルーム設置）	春・秋・冬	30
伏見港公園	テニス（月曜日午前）	春・秋・冬	24
	テニス（火曜日夜間）	春・秋	16
	らくらくヨガ教室	春・秋・冬	38
	健康なからだづくり教室	春・秋・冬	38
	エンジョイ健康教室	春・秋・冬	38

児童の健全な育成を目的とした事業

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	陸上競技	通年	28
	ジュニアサッカー	通年	43
	ジュニアバスケットボール	春・秋・冬	38
	ジュニア水泳（火）	春・秋	13
	ジュニア水泳（金）	春・秋	13
	ジュニア水泳 短期	夏2期	12
	ジュニア水泳 短期	夏1期	6
	キッズ水泳（火）	春秋	13
	キッズ水泳（金）	春秋	13
	キッズ水泳 短期	夏2期	12
	キッズ水泳 短期	夏1期	6
	飛び込み 短期	夏	7
	親子テニス	春・秋	20
	おひさまクラブ	通年	11
伏見港公園	ジュニアテニス教室（低・高学年）	春・秋・冬	各32
	ジュニアバレーボール教室	春・秋・冬	38
	ニガテチャレンジ教室	春・秋・冬	38
	体操教室キッズA・B	春・秋・冬	各38
	体操教室ジュニア	春・秋・冬	38

中高年の健康の維持・増進を目的とした事業

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	さわやか健康月曜日	通年	39
	さわやか健康水曜日	通年	42
	シニアテニス	春・秋・冬	27
	シニアテニス 夏期短期	夏	5
	水中運動（25mプール）	春・秋	13
	ストレッチ＆軽運動	春・秋・冬	40
	体と心の健康体操	通年	42
	体と心の健康体操	春・秋・冬	38
府民スポーツ広場	グラウンド・ゴルフのつどい（火曜日・水曜日）	通年	77
伏見港公園	シニアテニス教室	春・秋・冬	24
	シニア健康教室	春・秋・冬	38
	グラウンド・ゴルフ	春・秋・冬	43

自主活動の支援を目的とした事業

開催場所	事業名	支援内容	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	太陽が丘ジョギングクラブ	施設の優先利用 ミーティングルームの無償提供	通年	50
	テニススクール交流会	スクール後の施設の優先利用 施設の無償提供と交流会（無料） の実施	各期スクール 終了後実施	3
伏見港公園	伏見港公園登録テニス大会	施設の優先利用 登録クラブ協議会の運営サポート	5月・11月	4
	バレーボール大会	施設の優先利用 登録クラブ協議会の運営サポート	6月・11月	2
	バレーボール審判講習会	施設の優先利用	5月・2月	2
	バドミントン大会	施設の優先利用 登録クラブ協議会の運営サポート	10月	1
	グラウンド・ゴルフクラブ	施設の優先利用（無償提供） 登録クラブ協議会の運営サポート	春・秋・冬	43
	ゲートボール大会	活動場所の優先提供	春・秋・冬	9
	ラジオ体操をする会	ラジオ体操の指導と活動メニュー の提供	春・秋・冬	36

4) イベント事業

競技力向上における普及・啓発を目的とした事業

未来のトップアスリートを生み出すためには、小さい頃から感動あふれるスポーツシーンに数多く触れることが大切であり、京都府競技力向上対策本部、京都府体育協会との連携により、トップアスリートと直接触れ合える府民参加型のイベントなどを開催する。

スポーツの普及・振興を目的とした事業

それぞれの施設の特徴を活かし、気軽にスポーツや自然、文化に親しむことができる事業を実施する。また、親子のふれあいや緑化推進、自然観察、スポーツ・レクリエーションの普及に努める。

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	親子ふれあいサッカー	5・10月	2
	アクアスロン講習会	7・8月	2
	太陽が丘アクアスロン大会	9月7日	1
	太陽が丘シニアテニス大会	秋	2
	スポーツカーニバル及び関連イベント	10月	1
	シンクロナイズドスイミングエキシビション	8月	1
	京都ハンナリーズふれあいクリニック	夏・冬	2
	陸上競技場無料開放	1月	1
府民スポーツ広場	みどりが丘グラウンド・ゴルフ大会	5月	1
	みどりが丘グラウンド・ゴルフのつどい交流大会	6月・10月 11月・3月	4
伏見港公園	スポーツを楽しむ日	春・秋・冬	10
	シニアスポーツデー	春・秋・冬	10

福島県との交流を目的とした事業

大震災による原発事故後、屋外での活動を制限されている福島県の子供たちを京都に招待し、サッカーを通じて交流する。

- ・太陽が丘青少年サッカー交流フェスタ（7月26・27日予定：200名）

また、京都府サッカー協会及び京都サンガF.C.との連携により福島県の子どもたち(30名の招待を予定)に元気を届ける事業を拡大させることに取り組んでいる。

(2) 地域振興事業

それぞれの公園を府民の公園、地域の公園と位置づけ、地域社会との共存を推進し、地域との連携・協働体制を構築することにより、地元開催の事業の推進と啓発、地域活性化に資する事業の展開に取り組み、地域社会とともに健全に発展することを目指す。

地域振興・地域活性化に係るイベントや事業や地元観光事業者等連絡会議に積極的に参画し、地域社会への貢献度を高めるよう積極的に事業を展開する。

また、京都府体育協会や総合型地域スポーツクラブ連絡協議会などとの連携により京都府民総合体育大会オープニング関連イベントなどの実施に向けて協議を進める。

1) 公園の賑わいの創出を目的に地域と連携した事業

開催場所	事業名	開催時期	連携団体
山城総合運動公園	桜ライトアップ及び関連事業（お茶席等）	4月	京都府茶業会議所
	緑のウォークラリー	4月	宇治市、宇治市公園緑地課 宇治市植物公園 京都府宇治警察署 J R西日本宇治駅 など
	宇治市こどもまつり	5月	宇治市こどもまつり実行委員会
	京都府宇治警察署啓発事業	5月	京都府宇治警察署
	スポーツ・レクリエーション・ニュースポーツイベント	5月	京都府レクリエーション協会
	みどりの中 de ミニコンサート	4・5・9・10月	Forevef Folk in 宇治
	みどりの中で”遊ぶ芸術祭”	春・秋	京都嵯峨芸術大学
	京都嵯峨芸術大学 みどりの中でワークショップ	春・夏・秋	京都嵯峨芸術大学
	宇治川花火大会関連事業（夕暮れコンサート等）	8月	宇治市観光協会
	宇治市民スポーツまつり及び関連事業 おうじちゃまつり	10月	宇治市生涯学習課 宇治商工会議所
	宇治川マラソン	2月	宇治市体育協会
	ファミリープール内紅葉観賞	11月・12月	宇治市
	宇治太陽が丘スイートリレーマラソン	4月	宇治市土産物組合 宇治市観光協会
	京都ご当地グルメリレーマラソン	10月	京都府総合型地域スポーツクラブ 京都府体育協会
	松竹芸能 presents 爆笑ランニング 2014 森脇健児ルレマソン in 京都	3月	松竹芸能
伏見港公園	伏見港まつり （コンサート・手作り市・朝市）	7月・12月	地元農家、地元商店 伏見区役所、ピアーズンピアーズ
	伏見シティサイクル2014	秋	京都サイクリング協会 京都府伏見警察署・伏見交通安全協会 NPO法人伏見観光協会 乃木神社・御香宮神社 月桂冠（株）・JAF京都支部 京都府レクリエーション協会 京都府自転車競技連盟
	高齢者向け自転車教室	春・秋	京都府伏見警察署 交通安全協会
	伏見観光ウォーク（十石船乗船など）	10月	京都教育大学 NPO法人伏見観光協会

2) 近隣の学校や地域、大学と連携した事業

開催場所	事業名	開催時期	学校名
山城総合運動公園	職場体験学習	春・秋	西小倉中学校 西宇治中学校 東城陽中学校 田辺中学校 菟道第二小学校 など
	インターンシップ	夏	びわこ成蹊スポーツ大学 大阪体育大学
伏見港公園	職場体験学習	春・秋	神川中学校 小栗栖中学校 向島中学校 開晴中学校 など

(3) 緑化推進事業

山城総合運動公園では、公園の約半分を占める自然林の環境を整備することで、生息する数多くの野鳥や飛来する渡り鳥が生息する環境を守る。

24年度から京都SKYセンター、フォレスターうじ、公園ボランティア、京都野鳥の会などとの協働による「緑の活動」を進めており、団体間の連携を深めたパークマネジメントを推進する。

伏見港公園は京都市の南西部に位置し総面積は3.74ha、隣接する「伏見みなと公園」と一帯で府民の憩いの場となるよう、公園緑化の推進と緑化の啓発を行っていく。

緑化の推進と啓発、自然との触れ合いを目的とした事業

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	小枝のクラフト	4・5・9・10・11月	8
	ツリークライミング	5月・6月・10月	3
	探鳥会	5月・9月・3月	3
	水生昆虫を調査	5月	1
	緑化のつどい	10月	1
	剪定教室	..	1
	森づくりボランティア講座・枝打ち体験	..	1
	緑の活動	通年	..
府民スポーツ広場	和風(六角)凧の手づくり体験	12月	1
伏見港公園	水辺の見学会	6月・10月	2
	紅葉ライトアップ	11月	..

(4) 施設貸与事業

京都府から指定管理者として指定を受けた施設の適切な管理運営を行い、利用者に安心・安全で快適な空間と質の高いサービスを提供する。

スポーツや身体活動、自然とのふれあいや体験学習などの場を提供するとともに、公平性・公共性・透明性の確保を基本に施設案内、各種情報の提供、施設利用方法などの指導を行う。

スポーツ施設においては、市民スポーツから競技スポーツまで幅広いスポーツの普及振興を目指し、個人練習、地域行事、市民・府民大会や国民体育大会、全国高校総合体育大会等の全国レベルの競技会までの利用調整をバランスよく行っていく。

また、学校教育法、児童福祉法に基づく教育活動等への施設貸与についても、青少年の健全育成の観点から積極的に受け入れていく。

なお、プロスポーツ、プロ興行、展示会などについても、スポーツの普及・振興及び経営基盤の安定のため誘致に力を注いでいく。

(5) 施設運営事業

公園運営においては、安心・安全で府民に親しまれる快適な空間を提供できるよう適切な維持管理に努める。

また、防災拠点としても重要な施設であり、有事の際にその機能が最大限発揮できるよう行政との連携に努める。

公園スタッフは、常に利用者目線に立った対応を心がけ、快適で利用しやすい施設運営に努める。

(6) 広報活動

施設内容や自主活動等の情報をリアルタイムに発信し、利用しやすいホームページを運営など季節に合わせた情報提供を定期的実施する。

また、メールマガジンの配信やホームページの携帯サイトによる情報発信にも取り組む。

(7) モニタリング

利用者満足度を向上させるため、ご意見箱やホームページから幅広く意見を収集するとともに「公園利用者意識調査(満足度調査)」を行い、利用者の要望を具体的に検証しサービスの向上に取り組む。

2. 収益事業

(1) 収 1 事業

駐車場経営、ファミリープール及び各種イベントへ施設を貸与する事業

公益目的事業の充実を図るために、収益事業により安定した経営基盤の確立が不可欠であることから、適切な収益事業を推進する。

1) 収益施設貸与

山城総合運動公園、伏見港公園において、府民にイベントを観覧する機会を提供するとともに、入場料の一部を収益とする。

また、地元関連団体との連携によるフリーマーケットや物産展、空き施設や閑散期の駐車場を活用したイベントと物販を組み合わせた企画などの検討を進める。スクール事業では上級者を対象とするステップアップスクール等を実施する。

夏の野外コンサート（山城総合運動公園）

第 2 競技場・球技場・陸上競技場等を利用した野外コンサート（京都大作戦）2 日間

○ B j リーグ（山城総合運動公園）体育館 2 日間（2 試合）など

2) ファミリープールの管理運営

ウォーターボイズ公演やダブルダッチパフォーマンス&体験、公認 50 m プール de タイムアタック、KBS 京都ラジオによるサテライト放送などの実施、またシンクロナイズドスイミングのデモンストレーションイベントや深い水深を利用したのシュノーケル体験などを企画し、新たな楽しみ方を提供する。

山城総合運動公園 ファミリープール	造波プール 遊泳・トレーニングプール けい流・子供プール ウォーターボブスレー スライダー		
	大人	1 日	1,000 円
	高校生	1 日	700 円
	小・中学生	1 日	450 円
	幼児	1 日	100 円
・心身障がい者は、50% 減免 ・団体割引あり			

3) 駐車場の管理運営

来園者の利便の向上のため駐車場の管理運営を行う。

(山城総合運動公園及び伏見港公園は有料)

山城総合運動公園	収容台数	約 1,300 台
	普通車	1日 400 円
	大型車	1日 1,500 円
伏見港公園	収容台数	約 200 台
	普通車	300 円 ~ (時間制)

※ 平成 25 年 4 月から送迎等短時間利用者を対象に、同一ゲートからの入退場に限り 30 分未満無料 (58,000 台)

4) ロッカーの管理運営

山城総合運動公園	プール内	2,040 口
	公園内	50 口
伏見港公園	体育館・テニスコート	120 口

5) 収益を目的としたスクール、イベント

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
山城総合運動公園	ステップアップテニス	春・秋・冬	27
	夏期短期ステップアップ	7月・8月	5
	ジュニアテニスA	通年	40
	ジュニアテニスB	通年	40
	ジュニアテニスC	通年	40
	ハンナリーズキッズ	通年	36
	ハンナリーズジュニア	通年	36
	シュノーケル体験	7月	1
	50mプールでタイムアタック	7月・8月	3
	ウォーターボーイズ公演	8月	1
	ダブルダッチイベント	8月	1
	KBS京都放送 プールサイドサテライト放送	8月	1
	京都ハンナリーズチアダンスイベント	8月	1
	S L 見学会	5月	1
	S L 見学会ミニ機関車の運行	5月・11月	1
	フリーマーケット	春・秋	8

開催場所	事業名	開催予定時期	回数
伏見港公園	エンジョイテニス（水曜日午前）	春・秋・冬	32
	エンジョイテニス（木曜日夜間）	春・秋	24
	We Love Fushimi ドッチボール大会	12月	1
	フリーマーケット	11月	1

(2) 収 2 事業

飲食及び物品販売事業

来園者の利便性向上のためレストランや自動販売機による飲食提供及び物品の販売を行う。

平成 26 年度は新メニューの提供やテイクアウトの見直し、営業時間の延長、販売カー活用の拡大などを検討、またファーストフードの自販機の設置やスイーツの販売など、利用者ニーズに応えるサービスの提供に取り組む。

レストラン	山城総合運動公園	1ヶ所 150席
売店	山城総合運動公園	テイクアウトコーナー 1ヶ所 臨時売店 繁忙日 臨時対応
プール売店	山城総合運動公園	軽食堂 1ヶ所、売店 2ヶ所 3ヶ所で最大 8,000人対応
自動販売機	山城総合運動公園	自動販売機 52台 自動販売機コーナー 2ヶ所 ・公園センター 自動販売機 7台 休憩所有り ・テニスコート 自動販売機 4台 休憩所有り ・体育館ホワイエ ｽｯｰ用品 自動販売機 1台
	府民スポーツ広場	自動販売機 3台
	伏見港公園	自動販売機 5台 ・自動販売機コーナー1ヶ所 5台 休憩所有り ・ロビー ｽｯｰ用品 自動販売機 1台
弁当販売	山城総合運動公園	レストラン内 数食～20,000食
物品販売	山城総合運動公園	ラインテープ、切手、印紙等

会社の組織

組織表

